



特集 2 自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介

(自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介 – 3)

東北のインバウンド誘客拡大にむけて ～山形県の取り組み・Wi-Fi 面的整備加速化プラン～ (山形県デジタルコンテンツ協議会)

〔事業概要〕

山形県では、訪日外国人観光客数が増えていく中、必須アイテムといわれている無料公衆無線LAN環境（以下、Wi-Fiという。）の整備が急がれています。しかし、ハード整備・維持共に多額な資金の問題、すでに各自治体で進めているWi-Fiとの共有化の問題、訪日外国人を含むすべての観光客に対して利便性が高く、新鮮な情報提供手段のソフト面の問題などがあります。

山形県デジタルコンテンツ協議会では、平成28年3月に「山形県Wi-Fi利活用研究委員会」を設置し、山形県Wi-Fi環境面的整備に向けた山形市蔵王温泉地域をエリアとして実証実験を開始しました。

〔コラム〕

(1) 事業の背景・経緯

訪日外国人を含むすべての観光客に対しての利便性を追求した場合、Wi-Fi整備事業者毎のWi-Fiの環境が自治体や各商店などでサービスされていますが、従来の各々の登録やログインなどが必要なく、既存・新規共に一度だけの認証で全てログインを可能とすることで面的整備が加速化する考えました。

(2) 事業内容

① 調査

蔵王温泉商店街には、ホテル・旅館をはじめ、お土産屋・飲食店・レンタルスキー店・ロープウェイ各駅などがあり、それぞれのWi-Fiを提供しています。その傾向は、県内各地の観光地や商店街でも同様であること、各店舗でサービスしているWi-Fi提供範囲も、まち歩きをしている中では十分に接続できる範囲であることがわかりました。(調査協力：無線LAN電波の広がり計測器 AirMagnet Survey(株)東陽テクニカ様)



図1. 蔵王温泉商店街（1ルートのみ抜粋）抜粋した図

② アプリおよび仕組みの開発

上記に示すようなWi-Fiを提供しているオーナーの協力を得て、SSIDとログインパスワードを一元管理し、それらのリストは、無料スマートフォンアプリケーション「Free_Wi-Fi_YAMAGATA」をダウンロードし、認証ログインされた方に「Wi-Fi認証ID管理サーバ」「ID認証サーバ」「アクセスポイントデータベースリストサーバ」を介し提供されます。

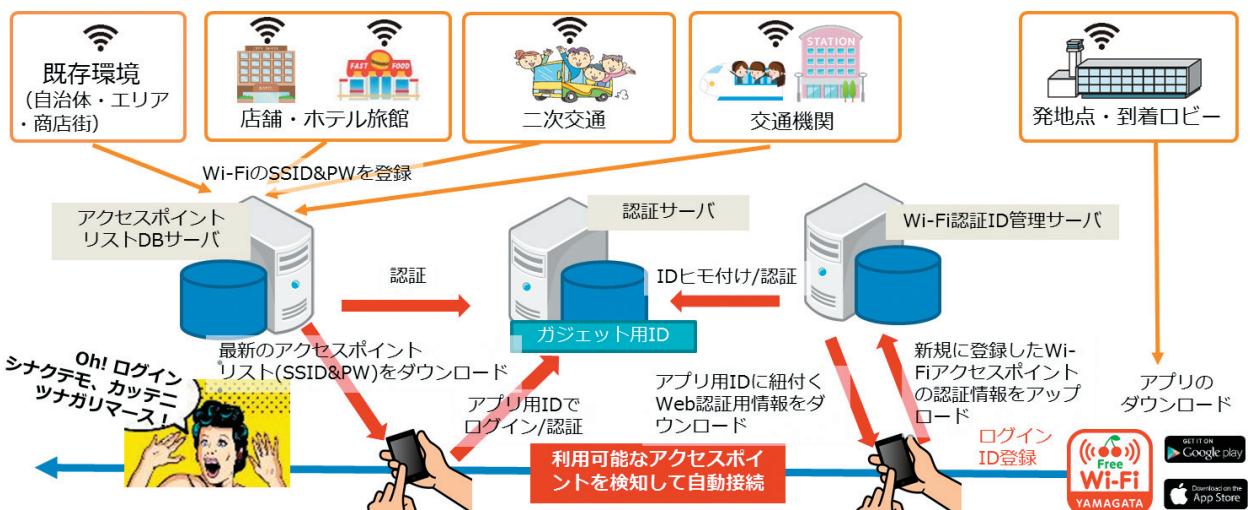


図2. Free_Wi-Fi_YAMAGATAの概要

③ コンテンツの連動方式

訪日外国人観光客の傾向として、観光地の決定は発地（現地）点ですが、「食事場所・レストラン」や「買い物スポット」などは訪日後に決定する傾向にあるといわれています。そこで、アプリと位置情報からネイティブ記事が表示され、商店・旅館・ホテルなどサービスする情報をデータベース化し、記事に合わせて紐づけされます。

また、個人（利用者）は、自分の趣味嗜好によって閲覧する内容や履歴から、個々の嗜好分析し、個人に対して適した「おすすめ情報」「広告」を表示するシステム（DMP+レコメンド機能）活用し、閲覧および購買意欲に繋がるサイト作りとされています。かつクーポン情報も提示されます。

(3) 「Free_Wi-Fi_YAMAGATA」の特徴

アプリ化することによって、一般ユーザーに手軽に使ってもらえる環境を提供しており、アクセスポイントへの自動接続のほか、位置情報による最適なコンテンツの表示、クーポンの提供など、どこにでも持ち歩けるスマートフォンの機能を活かしたサービスモデルになっています。裏側ではトラッキング情報を全て暗号化された通信でサーバに送り、個人が特定されづらい構造のもと管理されています。

この事業の方式は、複数の異なる自治体が設置するオフィシャルに整備されたものであっても共有でき、点在するアクセスポイントを、オーナーのWi-Fiによってカバーすることで、面的な整備が可能となり、自治体としても費用負担が少なく済むなどがあげられます。



特集 2 自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介

(4) 事業の波及効果

運営は、広告・クーポン・ポイントラリー・コンテンツ制作・翻訳など収益の他、アプリとコンテンツ両面から解析したデータの販売を自治体や観光団体などに販売するビジネス化されており、継続はもちろん県内のみならず東北全体で活用が可能であることから、たくさんの問い合わせをいただいており、広域連携によるWi-Fi整備の加速化、より高度なデータ収集の実現を図っています。

[問い合わせ先]

- ・山形県デジタルコンテンツ協議会事務局 (株)デジコンキューブ内)
- ・電話番号：023-627-5150
- ・e-mail : digicon@dc3.jp